

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	認定NPO法人 自然再生センター
テーマ名	令和6年度「寄附者設定テーマ事業（第1次募集）」
事業名	水草リング～天神川・宍道湖の水草の利活用～
事業費(うち助成金額)	575,000 円
ネーミングライツ(該当があれば)	いとはら水産



■事業目的（250文字程度）

宍道湖の自然再生を目指し、天神川・宍道湖に繁茂する水草を刈り、その水草を投入した畑で作物を育てる。更にその作物を商品として加工・販売することで、宍道湖の水環境の改善と地域経済の循環を目指す。またそのすべての過程に、地域住民（松江市内を中心に斐伊川水系中流雲南市から下流米子市）だけでなく、学校など多世代が関わることで水辺に親しみをもち、次世代のキャリア教育を展開し地域を誇りに思えることも目指した。自然、人だけではなく資金が循環し、持続可能な社会につながることを実感してもらいたいと考え事業展開した。

■事業内容（350字程度） 宍道湖漁協の皆様にも循環型の活動についてご理解をいただき、水草を活用した焼酎づくりとその普及に向け、夏場に水草の提供をしていただいた。またその水草を、当法人の上乃木の畑に加え、次世代の新規就農者が管理する大東の畑に蒔くことで活動の広がりが見られた。島根県立松江商業高校とは、課題研究の授業として、宍道湖での水草刈りや、水草を蒔いた畑でのさつまいも苗植えや草刈り、ハゼ釣りなどをともにやり、年間を通した継続的な関わりが生まれた。また、松徳学院中学校および松江市立中央小学校と連携し、天神川での水草刈りを実施。地域における小中をつなぐイベントにもなった。松徳学院高校では総合的な学習の時間として畑での作業や、さつまいも販売用のチラシ作成を行い、中央小学校では水草刈りの前後に講師として授業を行った。体験にとどまらず、環境学習としての知識も伝える機会となった。

■事業成果と今後の展望（450字程度）

島根大学教育学部の「1000時間体験活動学修」から学生が年間を通して継続的に関わったことで、学生自身の体験や学びとなっただけでなく、多世代間のつなぎ役としても大きな役割を果たした。畑で開催したさつまいも収穫祭には2歳から70代までの35名が参加し、世代や職種を超えた交流イベントとなった。収穫したさつまいもは、米子市の株式会社稲田本店により、オリジナル芋焼酎「中海・宍道湖の恵み」として商品化・販売され、これまでにない“焼酎”という新たなツールを通じて、関係人口を増やし宍道湖中海への関心や環境への意識を持ってもらえたのではないかと考える。本事業を通し、水環境の改善と地域経済の循環を促進し、地域住民や学校等、幅広い世代の参画を得ることで、キャリア教育の機会創出や地域への誇りを育むきっかけにもつながった。今後は、宍道湖漁協の皆様と協力しながら、奥出雲や国土交通省など多様な関係機関とも協働し、より広域的かつ持続的な活動の展開を目指していく。